

100

1

問一

なんらかの対象に関係しているという点で「なにを」に
関わる対象的側面と、その対象をどのようにに経験して
いるかに関する点で「いかに」に関わる感覚・感情的側面。

6点

問二

知覚世界は、当人が知覚をどの程
度保持しているか次第で、あり方
を変えるところという事情。

8点

問三

少なくとも立している 経験。3点

問四

工 3点

問五

この具体例では、空の色が醸し出す雰囲気や鳥の音が作り
だす環境に自分も含まれるという要素が足りないから。

7点

問六

A イ B ア C 工 D ウ 2点×4

問七

(ア) 困難 (イ) 念頭 (ウ) 実現
(エ) 形成 (オ) 快活 2点×5

問八

ウ 5点

50

2

問一

プロの棋士になる以外に、優秀な兄と肩を並べる
方法はないから。

8点

問二

勉強と将棋の両立を宣言したもの
のうまくいかず、現状では棋士に
なれないのでは、現状では棋士に
な気持ちは。

8点

問三

内心で白旗 6点

問四

工 5点

問五

一 オ 二 ア 三 工 四 イ 五 ウ 1点×5

問六

ウ 5点

問七

自分の価値を証明する手段として向き合っていた
状態から、好きという純粋な気持ちで向き合う状態
へ変化した。 8点

問八

イ 5点

50